

付番	頁	施策等	テーマ	委員意見（概要）	県方針（案）
1	第 4 章各施策の冒頭の記載		計画の記載方法について	他の計画に関して記載しているように、「現状と課題」についても「地域社会の状況」の数値の、どのグラフから読み取れるかを書いてあると分かりやすいのではないかな。	意見について検討しましたが、それぞれの現状と課題については、多様な状況や課題に跨っていることを要因としたものもあり、記載が煩雑になることから、現行のままとすることとしました。
2	4 3 頁	施策 1（3）ひとにやさしいまちづくりの推進	事業概要の掲載について	県の分野ではないが、ヘルプマークの事業概要の記載を予定しているところに、各市町村で取り組んでいるヘルプカードも記載していただきたい。	ヘルプカードについても、併せて記載しました。
3	4 8 頁	施策 2（2）地域住民等による社会貢献活動の充実	ボランティア教育等について	ボランティアの活動について、学生のうちに重要性を教えていただけるような施策あると、ボランティア人材の底辺が広がるのではないかな。	教員やボランティアなど福祉関係者、協力者等を対象としたセミナーの開催等、県社会福祉協議会の取組の支援を通じて、学生のうちからボランティア人材の育成を図って参ります。（次項 2 の付番 2 のとおり追記）
4	5 7 頁	施策 3（1）包括的な支援体制の構築	生活困窮者等の相談に対する専門職の育成等について	生活困窮者等の相談関係の専門職も増えており、こうした分野の人材の育成・確保という点も書いていただきたい。	生活困窮者自立支援制度の従事者養成研修を通じて、自立相談支援員等の資質向上を図るとともに、自立相談支援機関連絡調整会議を開催し、市町における取組の充実を図ります。（次項 2 の付番 4 のとおり追記）
5	5 7 頁	施策 3（1）包括的な支援体制の構築	制度の周知等について	困窮者が、相談窓口の情報を得る手段をもっと多くしてもよいのではないかな。 成年後見制度などを知っている者は一部であり、周知をお願いしたい。	生活困窮者自立支援制度の従事者養成研修を通じて、自立相談支援員等の資質向上やアウトリーチを含めた相談・支援の充実を図り、自ら声をあげることが困難な方にも支援が届くよう取り組んで参ります。（次項 2 の付番 4 のとおり追記） また、県ホームページ等をはじめ、様々な広報媒体を活用しながら、成年後見制度など各種サービスの周知に努めるとともに、市町における広報機能等を備えた中核機関設置の支援に努めて参ります。
6	6 8 頁	施策 3（3）成年後見制度の利用など、一人ひとりの権利を守る取組の促進	成年後見制度に係る研修内容について	「成年後見人制度等の利用促進」について、意思決定支援に関する研修を盛り込んでいただきたい。	現在実施している成年後見制度に係る研修では、「意思決定支援」に関することもカリキュラムのひとつとして取り入れており、引き続き取り組んで参ります。